



ハッピーテラス通信

令和5年1月号

ハッピーテラスキッズ柏ルーム
04-7193-8205

新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。

ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

1 お知らせ

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

「デコボコメンバーズ」登録のお願い

お知らせのお手紙と、QRコードを皆様のファイルに挟ませていただいております。

2月のご利用予約より、メンバーズ内の予約カレンダーにて行うことになりました。

登録と併せましてご理解、ご協力よろしく願いいたします。

2 職員からの推薦図書

題名 「パンどろぼう」

著者名 柴田 ケイコ

参考価格 1430円 (Amazon)

推薦者 郡司園子(我孫子教室)



美味しいパンを食べることが大好きな、自称・大泥棒のパンどろぼう。

ある日、盗んだパンが美味しくなくて、パン屋さんに文句を言いに行ったパンどろぼうは、パン屋さんからある提案を受けます。

ストーリーが面白いだけでなく、探し絵としても楽しめる一冊です。

3 1月の追加ご利用可能日程

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
10:00															
11:15															
13:00															
15:00															
16:15															

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10:00																△
11:15	△			△												
13:00	△			△					△							△
15:00																
16:15																

(記号：○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

4 おうちでキッズコーディネーション!

～8のじハンドオフ～

難易度★★★★☆

ねらい

- ・体をタイミングよくスムーズに動かす
- ・周りや人のものと、自分の位置の関係をつかむ
- ・自分の体をテンポよく動かしたり、人の動きのテンポをまねしたりする

準備物

- ・ハンカチやハンドタオル、小さめのボールなど

進め方

- ① 子どもは足を肩幅に広げて立ちます。保護者は子どもの横に立つか、向かい合って、同じように足を肩幅に広げて立ちます。
- ② 右手にハンドタオルや小さめのボールを持ちます。
- ③ 右手のタオルを右ひざの前から、股下をくぐらせ、左手に渡します。次に、左手を前方に回して股下を通し、右手に渡します。以後同じ動作を繰り返します。保護者と子どもが、同じスピード同じリズムでできるようにやってみてください。
- ④ 慣れてきたら、左手から始めて、逆向きに回していきます。

☆ 幼児の場合は、足の間を8の字にくぐらせるのは難しいので、腰のあたりで、おなかと背中をの周りをぐるぐる回してもらってもかまいません。

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLをお知らせされないようお願いいたします。

動画のQRコードはこちら！



5 療育コラム 「お子様の興味・関心事に向き合ってみませんか？」

今回は、年末年始という、お子様と関わる時間が増えてくることが多い12月のコラムという事で、表題のテーマでお話をさせていただきたいと思います。

さて、突然ですが、皆様は、自身のお子様、現在、興味・関心を持っている物事を知っていますでしょうか？「内容まで、しっかり知っています」という方もいらっしゃるかもしれませんが、「名前ぐらいは…」という方もいらっしゃるかもしれませんし、「最近、ちょっと…」という方まで、様々ではないかと思えます。

今回のお話は、どういった形で、お子様の興味・関心事と向き合ったらよいか、そして、向き合うとどんな効果があるのか、というお話です。

そのため、現在、どのレベルでお子様の事を把握しているのか、に関しては、一切の問題ではありません。しかし、保護者様ご自身が、どの理解のレベルにおられるかを知っておくことに関しては、重要です。何故なら、現状、どのレベルで理解しているのかによって、興味・関心の示し方が異なってくるからです。

簡単な例を挙げると、ルールのある遊びやゲームなどを、既に一緒にやっているレベルで理解しているのに、「どうやったらいいの？」など聞いても「いや、知ってるでしょ」となるし、逆に基本的なやり方も知らないレベルなのに、「今のやり方はちょっと良くなかったね」など、玄人感を出そうものなら「知らないくせに偉そうな事言わないで！」と、不快感に繋がってしまう事もあるのではないのでしょうか。

では、具体的にはどうしていったら良いのでしょうか。

最も取り組みやすい場面としては、お子様が自発的に、興味・関心事についてお話をしている際に、内容に言及してみる、という方法が効果的且つ簡単であるように感じます。

何故なら、お子様の方から話したい気持ちがあって、お話をしているから、そこに、軽く問い掛けを添える形でやり取りを展開していけば、自然とある程度のコミュニケーションには繋がっていくからです。

こういった場面で、自身が、その内容に関して良く知っているレベルであれば、話題に共感しながら、自身の視点から助言をしてみるのも良いかもしれません。

あるいは、少しだけ知っているレベルであれば、自分が知っている範囲の内容で類似したもので例え直してみたり、そこまでは知らないんだけど、それと比べたらどんな感じ？というように、内容を質問してみるのも良いかもしれません。

もしくは、全く知らないレベルであれば、それって、どんなところが〇〇（すごい、可愛い、カッコいい、など）なの？最近そういうの流行ってるの？のように根本の部分について聞いてみるのも良いかもしれません。

これら全てのレベルでの対応に共通する関りの姿勢として、①内容を頭ごなしに否定しないこと、②お子様が話してくれた内容に関連した内容で何か質問をする事、の2点が挙げられます。

では、こうした関りをする事には、どのような効果があるのでしょうか？

私の考えですが、以下のような効果があるように思います。

- ◆お子様の興味・関心事を通して、保護者様自身の理解が深まる
- ◆話を聞いてもらえたことにより、お子様から保護者様への信頼感が向上する
- ◆お子様から、保護者様に対してのコミュニケーションの機会が増える
- ◆お子様の興味・関心事に関わる要望（「～買って」「もう少しだけゲームやらせて」など）の理由が分かる
- ◆保護者様が、理解を示せる範囲が広がった事で、お子様への注意や指摘などで腹を立てる機会が減る
- ◆お子様の興味・関心事が、保護者様にも広がり、共通の興味・関心事に繋がる可能性も？

以上の全てに共通しているポイントとして、お子様の興味・関心事に保護者様が歩み寄っている、という特徴が見取れるかと思えます。

これこそが、今回のお話の重要なポイントであるように思います。それと申しますのも、年齢や時期等も、お子様の視点からすると、保護者様が自分のしている事に興味を持って話を聞いてくれることは、嬉しいし、心強い事だと思います。そして、そういう関りの積み重ねこそが関係性の構築に繋がっていくように感じます。

しかしながら、日々そういう関りをしていく事は、様々な要因を加味しても難しいと思います。

なので、是非年末年始の長期休暇など、比較的時間に余裕がある際や、お子様から話が挙がってきたタイミング等、無理の無い範囲で、興味を示しながら関わりを持っていただくと、ふだんとは異なる新しい関係性が拓けていくのではないのでしょうか？

それでは、今回のお話は以上となります。今年も1年間ありがとうございました。

また、来年のコラムでお会いしましょう。